

## 地下空間の利活用に関する安全技術の確立について (諮問)

趣旨：

我が国は、軟弱地盤の平地部や数多くの活断層を有するなど、国土を形成する地盤構成は複雑であり、その大部分の状況は詳らかになっていない。

一方、我が国の経済社会活動は、国土のわずかな平地部に集中しており、工場、住宅、商業施設等の立地や、道路、鉄道等の交通基盤の整備には、地上だけでなく、地下空間の利活用は不可欠である。

しかしながら、近年、基礎ぐい工事におけるデータの流用や、道路の大規模陥没、ライフラインの破損等、地下空間に関わる事案が顕在化してきている。

加えて、我が国は、太平洋プレート周辺部の環太平洋火山帯に位置し、毎年のように地震が発生するとともに、台風、大雨等の異常気象による土砂災害等が多発している。

このような状況下にあつて、今後、道路、鉄道等の社会資本の整備や、大規模建築物等の立地、上下水道等のライフラインの整備等の地下空間の利活用に関しては、地質や地下水等の状況を詳らかに把握することが不可欠であり、そのためには面的にボーリング調査や弾性波探査等のデータを共有化し、利活用を図るとともに、地下空間におけるこれら施設の整備に関する安全対策を講じる必要がある。

また、地下施設の多くは、高度経済成長期以降に建設されており、今後、その維持管理、更新、老朽化対策が喫緊の課題となっている。特に都市部の地下空間には、これらの施設が輻輳して収容されており、異なる施設管理者間を連携した計画的な管理が必要であるとともに、一旦、被害が発生すると、都市の経済社会活動への影響は甚大となることから、適切な維持管理の誘導及び連携を指導する必要がある。加えて、地下水の変動の常時把握や地下施設への浸水等に対応した安全対策を講じることも必要である。

以上のことから、地下空間の利活用に関する安全技術の確立について諮問するものである。

# 地下空間の利活用に関する安全技術の確立について (小委員会の設置)

## ○検討内容

(地下工事の安全技術の確立)

- ・ ボーリングデータ、物理探査及び施工時のデータ等、公共・民間問わず、必要なデータを収集・共有・活用することなどにより、地盤の状況や地下水の変動等の状況を適確に把握するとともに、これらデータを活用した地下工事の安全技術の確立

(ライフライン等の埋設工事における安全対策)

- ・ 各々の地下ライフライン等の新設・復旧等の地下工事における適切な監督等を含めた安全技術の確立
- ・ 地下ライフライン等占用物件の老朽化等に対する適切な維持管理技術の確立

(地下空間における適切な維持管理への誘導・連携)

- ・ 異なる施設管理者間での適切な維持管理への誘導・連携に関する指導

(地下空間に関わる諸課題への対応)

- ・ 液状化や地下施設の浸水等に対応した安全対策の確立 等

## ○今後のスケジュール

平成 28 年 12 月～平成 29 年 1 月	小委員会立ち上げ
平成 30 年度概算要求前	とりまとめ